

# 東南村山 おいしい米づくり情報

第 7 号 穂 肥 編

発行：令和8年7月1日発行  
やまがた温暖化対応米づくり日本一運動村山地域本部  
村山総合支庁農業技術普及課  
(TEL：023-621-8295)

## 出穂はやや早まる見込み！遅れずに適期適量の穂肥を！

### 生育状況（6/30 現在、村山農業技術普及課生育調査圃）

- ・平年と比べ、いずれの品種も茎数は多く、葉数は多く、葉色は濃い生育です。
- ・葉数が多く、今後も高温で経過する予報のため、出穂は早まると予想されます。

【表 1 生育診断圃の調査結果 6/30 現在】

品種 (地域)	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)
はえぬき (山形市羽黒堂)	本年	47.1	776	10.2	44.8
	平年	50.3	633	9.6	44.1
	平年比	94	123	0.6	0.7
つや姫 (山形市南石関)	本年	51.0	655	9.5	43.2
	平年	47.3	539	9.1	38.7
	平年比	108	122	0.4	4.5
雪若丸 (山形市羽黒堂)	本年	40.3	820	10.1	44.5
	平年	41.4	603	9.7	44.5
	平年比	97	136	0.4	0

- ・「中干し」を行っていない圃場は**直ちに実施し、無効分けつの抑制と根の活力向上**を図りましょう。
- ・一発肥料を施用した圃場は「中干し」で生育量を調整します。地力が低い圃場や生育量が少ない圃場では弱めの中干しとしましょう。

### 穂肥

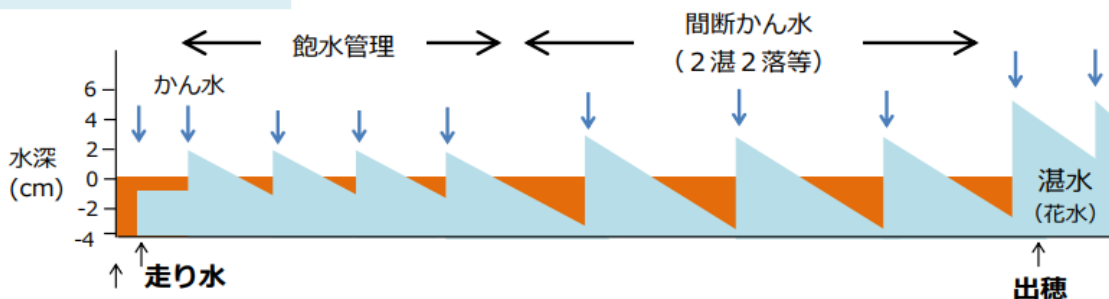
- ・穂肥の施用時期は、下表を目安とし、品種ごとの生育診断に基づき施用量を決定しましょう。
- ・出穂はやや早まる見込みです。遅れずに穂肥を実施しましょう。

品種	出穂期 (本年予想)	穂肥の タイミング	穂肥時期の 目安	施肥量 (Nkg/10a)
ひとめぼれ	7月29～7月31日	出穂20日前	7月9～11日	1.5
はえぬき	7月31～8月2日	出穂25日前	7月6～8日	2.0
雪若丸	7月31～8月2日	出穂25日前	7月6～8日	1.5
つや姫	8月6～8日	出穂30日前	7月7～9日	1.0～1.5
コシヒカリ	8月6～8日	出穂15日前	7月22～24日	1.0～1.5

- ・葉色が濃い圃場は**減肥対応**とし、玄米タンパク質含有率の上昇を防ぎましょう。
- ・葉色が薄い圃場は早めに穂肥を行いましょう。
- ・出穂間際の穂肥は、玄米タンパク質含有率が高まり、食味が低下するため、行いません。
- ・雪若丸に補完追肥を行った圃場は、施用した窒素分を穂肥窒素量から減肥します。

## 中干し後の水管理

### 水管理のイメージ



中干し終了

- ・「中干し」終了後は足跡に水がたまる程度の飽水管理とし、徐々に**間断かん水(2日湛水、2日落水)**に移行します。
- ・幼穂形成期(出穂 25 日前頃)～穂揃期は**水分や酸素を多く必要とするため、出穂期まで間断かん水を継続**しましょう。
- ・農業用水を地域内で有効に活用するため、適期・適正なかん水に努めましょう。

**「水管理強化期間：8月1日～8月10日」**

## 斑点米カメムシ類対策

- ・平年より発生が**多くなっています！**
- ・畦畔と圃場周辺の草刈り、除草剤散布を行い、**発生源をなくしましょう！**
- ・出穂間近の草刈りは、カメムシ類を水田に追い込んでしまうため、出穂2週間前頃には終了しましょう。
- ・水田内にノビエ、ホタルイ等が残っている圃場が見られるため、**残草対策を確実に**行いましょう！

**【草刈り強化期間 7月10日～20日】**



アカスジカスミカメ

体長約 5～7mm



アカヒゲホソミドリ  
カスミカメ

体長約 6mm

## いもち病対策

- ・圃場をよく見回り、**早期発見、早期防除**を徹底しましょう！
- ・育苗箱施用薬剤の持続効果は7月上旬～中旬頃のため、7月中旬以降はいもち病の発生リスクが高まります。  
→**7月中旬以降、早めに予防剤を散布**しましょう！
- ・いもち病の発生が確認されたら、**治療効果のある薬剤**で発生初期に防除しましょう！



葉いもちの病斑

### ～STOP 農作業事故～

農作業中の転落・転倒事故を防ぎましょう。  
熱中症に要注意！作業中はこまめに水分補給と休憩を取りましょう。

管内の稲作情報を  
LINEに掲載しています！

QRコードを読み込んで、  
グループ登録をして下さい。



稲作情報